

「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

—日本政府が速やかに「核兵器禁止条約」に署名、批准することを求める意見書—

全県的広がり
97%!全国トップ

県議会と32市町村議会で採択

「ヒバクシャ国際署名をすすめる岩手の会」は、一昨年7月7日国連で122カ国の賛成で採択された「核兵器禁止条約」に、唯一の戦争被爆国の日本政府が参加することを求める世論を広げようと、ヒバクシャ国際署名の推進と併せ、県内自治体からの意見書を集中しようとして取り組んできました。

17年9月議会に向けた請願では、岩手県議会が全国に先駆けて採択したことが大きく影響しました。市町村議会では、山田町を皮切りに二戸市、奥州市、久慈市、花巻市、盛岡市など約3割の自治体が9月議会で採択し、12月議会では宮古市、八幡平市、遠野市、などが採択、継続審査になっていた陸前高田市、紫波町が2度目の議会で採択。一度不採択にされていた北上市、西和賀町、岩手町は「岩手の会」の働きかけでいずれも賛成多数で採択になりました。

昨年9月、北上市には議員会派の学習会に講師を派遣し、9月議会で賛成多数で採択。今年になって、岩手町と大船渡市には被団協の役員が議長との懇談を要請、県内の被爆者の様子や請願の趣旨を説明し、議会での意見書採択の政治的役割の理解を求め岩手町議会が3月14日の本会議で2人だけの反対で採択されました。唯一残された大船渡市議会では、前回賛成7人が8人になりましたが反対11人には及ばず残念ながら否決になりました。

どの議会でも、最後まで奮闘されたのは「岩手の会」構成団体の議員の皆さんでした。何よりも心強く、頼りになる存在でした。本当に有難うございました。

3月16日(土) 11:00~12:00 「岩手の会」いっせい署名行動 盛岡クロステラス前



3月16日(土)11時から12時までの一時間、盛岡クロステラス前で「ヒバクシャ国際署名」行動を行いました。「私は74年前、広島で被爆しました」と、三田被団協副会長の自己紹介しながらの署名の訴えには、多くの通行人が耳を傾け、買い物客や通行人など、一時間で55人の署名が寄せられました。参加者は15人でした。



4~5月開催の2020年NPT再検討会議第3回準備委員会に「ヒバクシャ署名」提出の準備

被爆75年目にあたる2020年は、NPT再検討会議が4月から5月にかけてニューヨークで開催される年です。その準備委員会が今年4月から5月に開催されます。

この準備委員会に「ヒバクシャ国際署名連絡

会」は、代表(被団協から二名予定)を送り、署名を手渡すことで交渉しています。全国で「手持ちの署名」を集約、準備をしています。

昨年10月の国連総会には、全国から集約した830万403筆の目録が手渡されました。

各加盟団体で、現在手持ちの署名を

- これまで上部団体に提出しているところはそのようにして、数だけを事務局に報告する
- それ以外の団体や個人は、3月28日までに県被団協か生協連へ届けて下さい